

ソーシャル・デザインと ソーシャル・キャピタル

すぎなみ大人塾2006

すぎなみソーシャル・デザイン塾

～杉並をデザインする社会起業家になる～

2006年6月21日

新谷大輔

(株)三井物産戦略研究所

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科

D.Shintani@mitsui.com

ソーシャル・デザイン

ソーシャル・デザインとは

人と人、人と地域社会、地域と地域など、バラバラになっているものをつなぎなおす作業を通して、社会を作っていくこと。ソーシャル・キャピタルを醸成する作業ともいえる。



つながり = ソーシャル・キャピタル



ソーシャル・デザイナー

社会とのつながりに気付き、社会情勢やトレンド、将来像をふまえ、地域を俯瞰で見て、新たなつながりを作っていくことができる。地域でつながりをどんどん自ら作ることが出来る人。

つながり = ソーシャル・キャピタル

ロバート・パットナム”Making Democracy Work”(1993)

「民主的な政府がうまくいったり、また逆に失敗したりするのはなぜか」

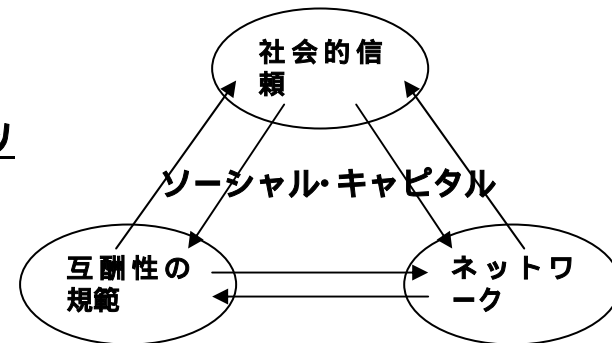
コミュニティ活動や住民のネットワークなどがそれを左右する

”Bowling Alone”

米国におけるソーシャル・キャピタルの衰退を明らかにした。

ソーシャル・キャピタルの衰退の主な要因としては、TVの台頭・女性の役割の変化(社会進出)・人々の地理的流動性の増加・ライフスタイルの変化・市民参加に関する価値観や行動の世代的変化などが指摘

「**人々の協調行動を活発にすることによって**
社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネット
ワークといった社会組織の特徴」と定義。



コミュニティとソーシャル・キャピタル

コミュニティ再生

家の鍵をかけるのは当たり前になった。

* 犯罪率 平成10年から平成14年の間に約1.4倍に増加。

かつての日本では…

- 「長屋」 みんな知っている
- 相互扶助の仕組み * 普請講

かつて村落社会では、家を建てたり、直したりする家普請は集落が総出で行うものだった。

住民の間に信頼感 = ソーシャル・キャピタル

相互扶助

□ 家を建てるのに建築資材や労働力を融通し合う相互扶助の仕組み

「むいから民家園」(東京都狛江市)

* 築200年以上の古民家を再生

* 保存運動 行政も動く

* 草刈り、泥こね、土壁塗り、屋根

ふきなど、毎回、親子で100人ほどの市民が参加。



「入園者が管理されるのではなく、あなたも主役の一人、いっしょに民家園にかかわりませんか」

「集落や縁せきなどそれぞれのネットワークで助け合ったんです。『屋根ふき講』もあった。茅を集めるにも、この家から茅何束、あそこの家から何束と貸し借りを克明に記録したんです。家を建てるには三代かかると言われたほどですが、何十年も昔の貸し借りを利用して、建築材料を集めたんですよ。お互いのギブ・アンド・テークで成り立っていたわけです」

「村の生産基盤である田畑や山林などの維持は、とても一人だけではできない。だから、家を建てるにも、一軒ごとに家の木を切って、柱を一本ずつ寄付したものです」

つながりのあるコミュニティ

イタリアの地域コミュニティ

- a. 社会全体が地域中心に出来ている
- b. 郷土で豊かな人生を送るため、郷土で事業を興し育てようとする 有能な人材が地域に残る。
- c. 堅固な地域コミュニティの基礎に「家族」がある。事業を興し育てるのも、最も信頼できる家族と一緒にやろうとする。
- d. 地域の風土、文化、歴史が独自のアイデンティティを持っている。その独自性が社会構造や産業に大きな影響力を持っている。 「愛着」

つながりのあるコミュニティ

まちづくりとソーシャル・キャピタル

*「まちづくり 市民活動」。コミュニティが一体とならなければ成功はあり得ない。

*まちづくりにおいては、市民が自発的に行動する環境が醸成されることが重要。市民の自発性だけに期待しているのでは何も進展しない。

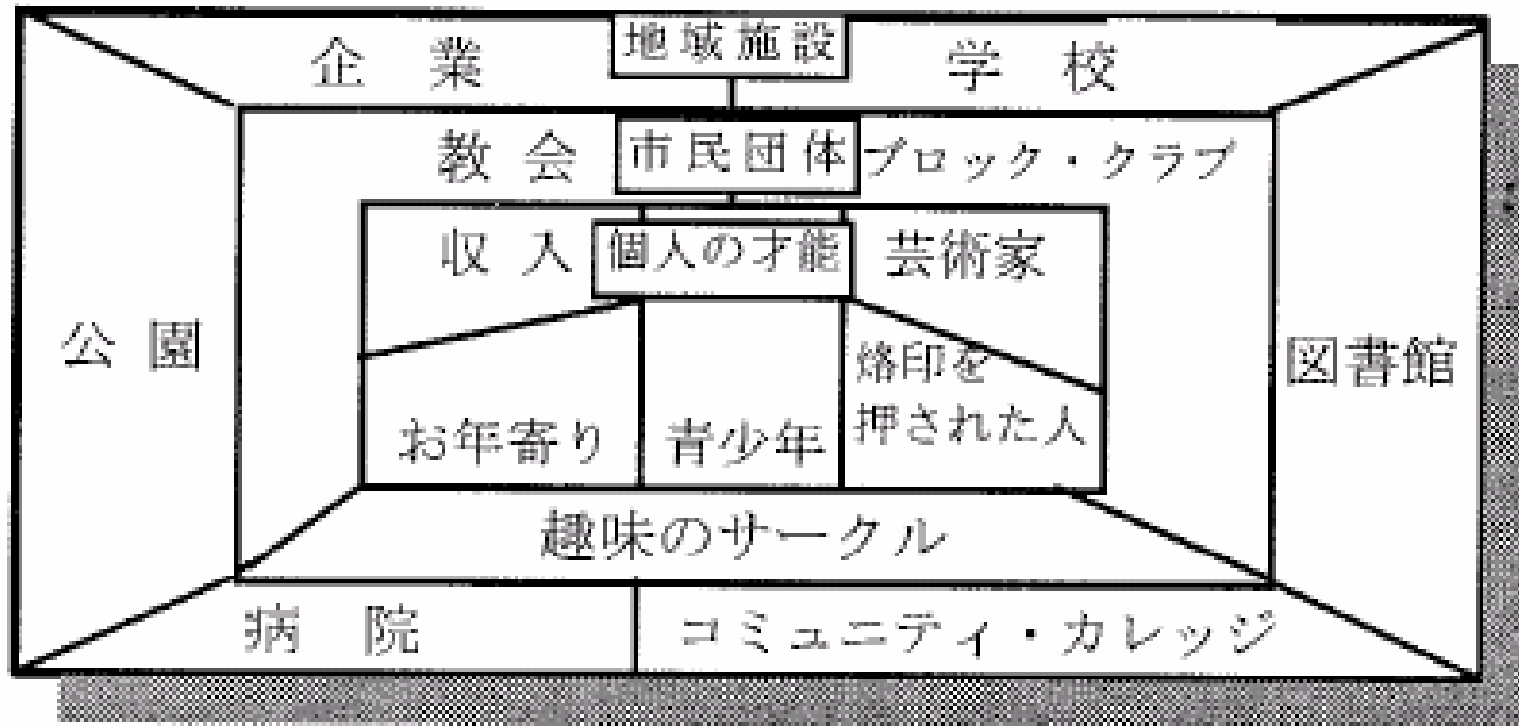
住民が街とつながりがあると思う、そのきっかけを与える。

まちづくりを行うには、ただ一人の市民が騒ぐだけでは何も起こらない。一人の市民がまちづくりの重要性に気付くことは重要であるが、そこから**コミュニティ全体の意識**へと拡大しなければまちづくりは成功しない。

重要となるのは、**市民のへの意識付け**。市民が何らかの価値観や問題意識を共有することが出来れば、容易にネットワークは拡大する。パットナムは「信頼」「規範」「ネットワーク」をソーシャル・キャピタルの構成要素とするが、ここでいう共通の意識は規範へと発展するものであり、そこから人々が実際に議論し会話していく中で、相互の信頼性を高めていく。

つながりのあるコミュニティ

コミュニティ・アセット・マップ



1. Asset-Based どんなアセットがあるのかを見極めること
2. Internally Focused 外部の専門家に頼るのではなく、
まずはコミュニティ内のアセットに目を向けること
3. Relationship Driven 関係性に注目すること。

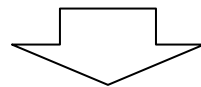
つながりのあるコミュニティ

NPOとの関係

NPOはその共通する規範に基づいて集まる人々の中のゆるやかなネットワーク、さらにそのネットワークは同じ目的性を持つ他のNPOと連携する傾向が強く、NPO間のネットワークも形成されやすい。

そして、企業とは異なり、利潤がNPOへの参加者を縛ることはなく、むしろNPOを形成する人々の中での**信頼感**によって結合しているものであることが多い。

無論、完全な慈善団体から、自ら事業を行う組織まで、一口にNPOとはいえども様々ではあるが、ソーシャル・キャピタルを形成するその中心としての役割を担うものであるといえる。



NPOは市民間の「つながり」を生み出す可能性に満ちている。